

◆京都市庁舎に設置する応対カウンター コンセプト

◆全体コンセプト◆

京都のおもてなしを
感じていただく応対カウンター

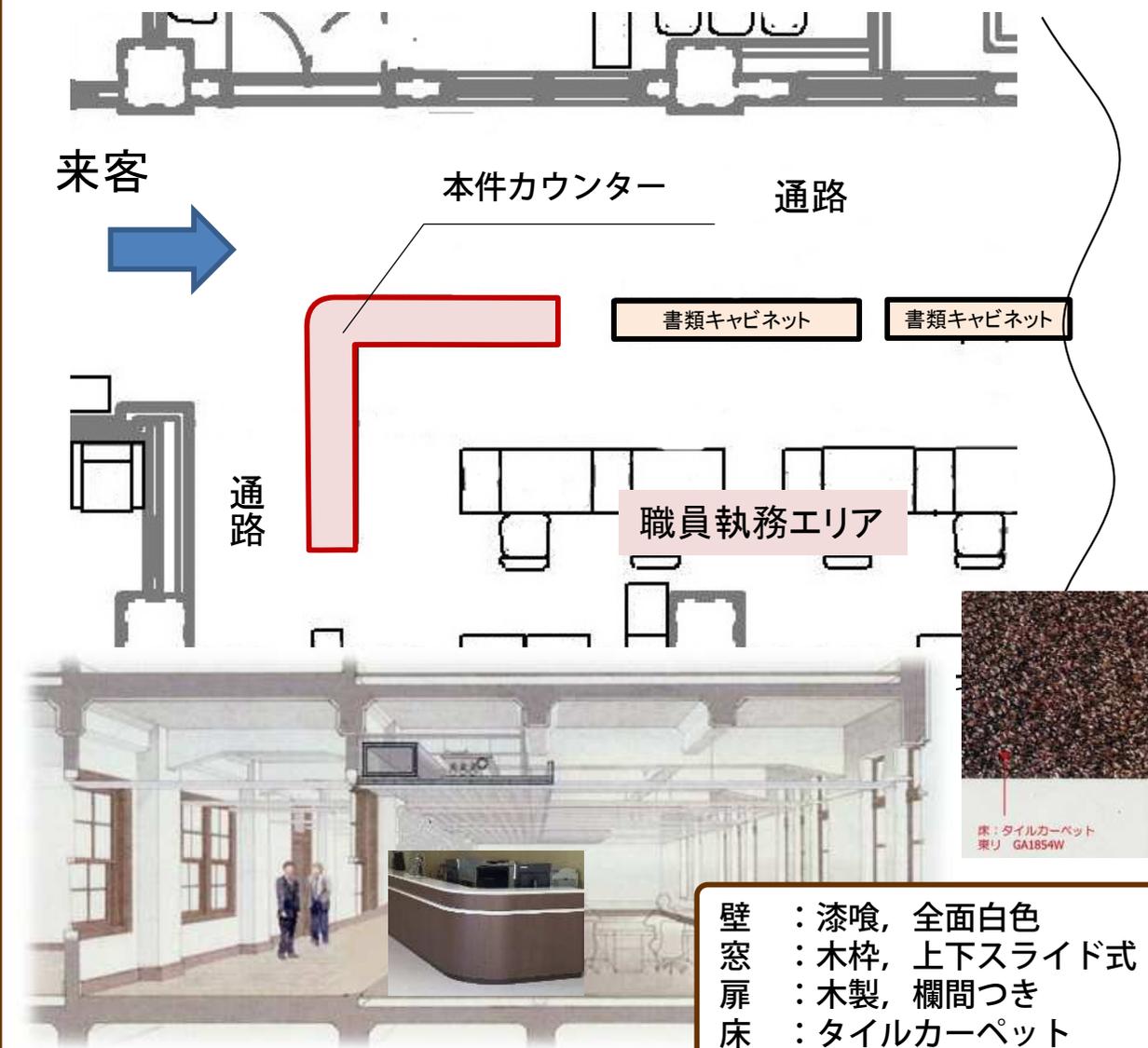
◆基本方針◆

今回の新庁舎整備により、世界の京都の「顔」として、「おもてなしの心」を備えた市庁舎としてリフレッシュする。

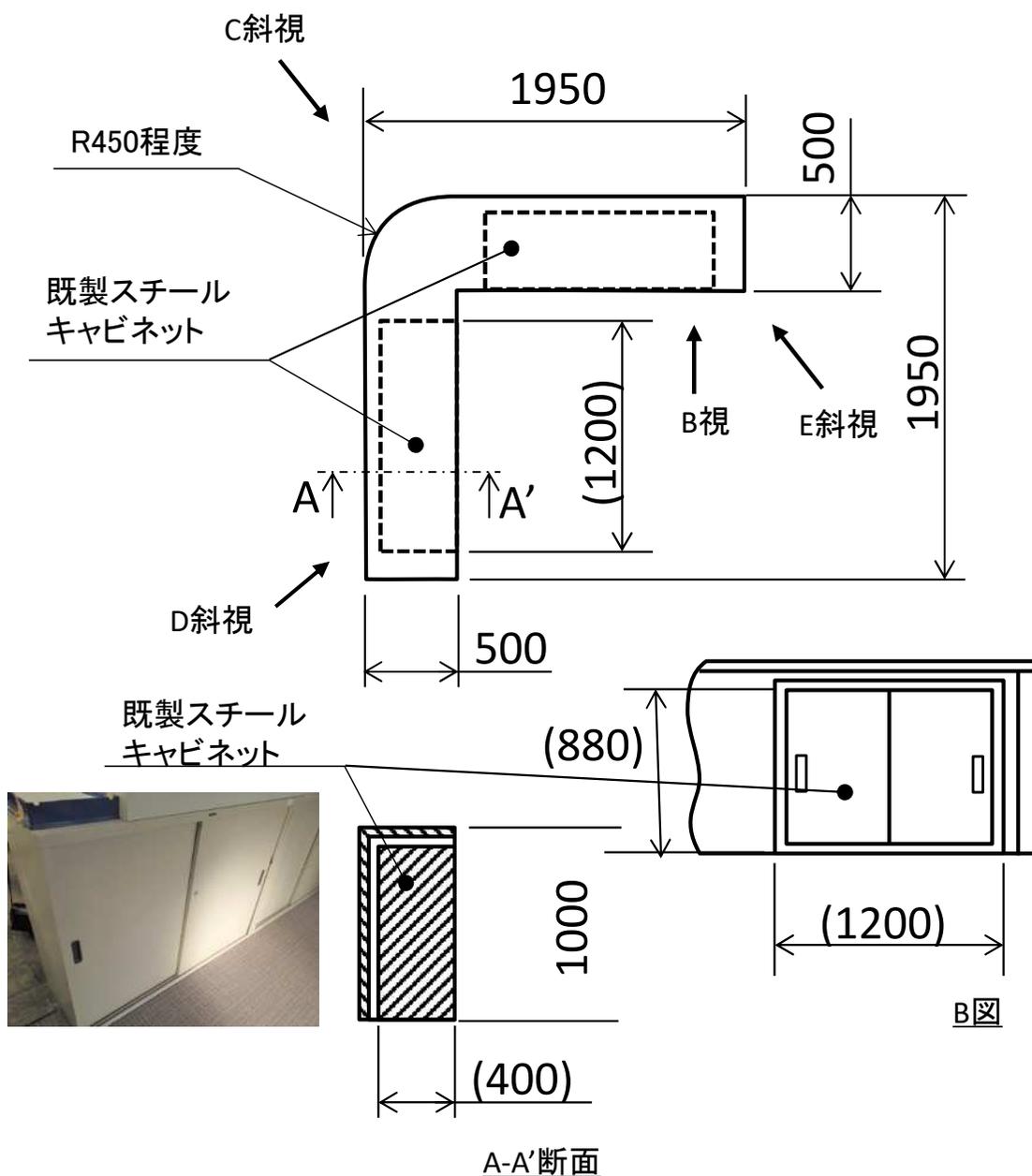
それに合わせて、本庁舎3階に入る秘書執務室内に來られるお客様をお迎えし、応対するカウンターを設置する。

改修される庁舎は「ネオ・バロック様式」を基調とし、東洋的モチーフが融合した特徴ある意匠である。お客様に京都の心のこもったおもてなしを感じていただけるような、「伝統と格式のある雰囲気」になじむ現代の洗練された意匠とする。

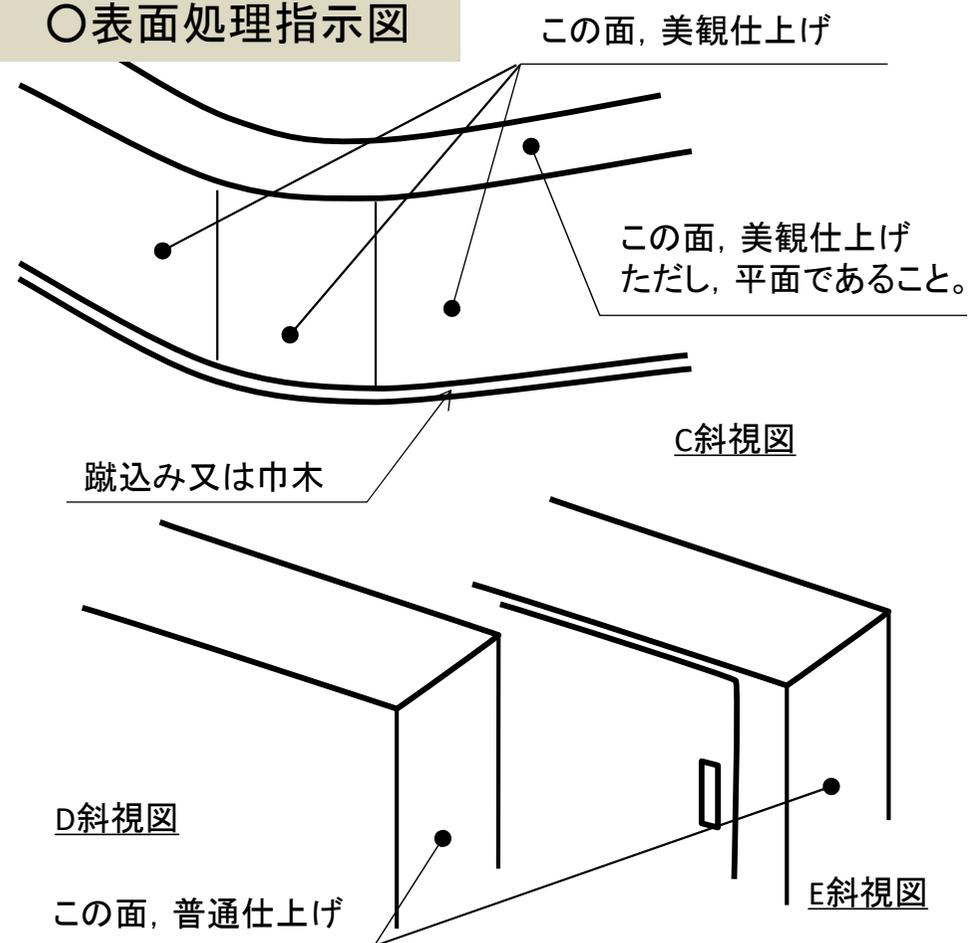
◆執務室レイアウトイメージ◆



◆カウンター概略図



○表面処理指示図



<注記>

- ・既製のスチールキャビネット(左図)が収納できること。
- ・その他, 棚や引き出しの設置は不要。
- ・()内寸法は既製スチールキャビネットの寸法。
- ・記載寸法以外の寸法や構造は意匠や機能に応じて, 調整可とする。
また, 記載寸法についても協議のうえ, 調整可とする。
- ・下端部に蹴込み, 又は巾木を付けること。